

(別添5)

事業所名 グループホームふく福

2 目標達成計画

作成日: 平成 22 年 5 月 15 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	13	現在スプリンクラーや火災報知機等の設備の充実や毎月の避難訓練の実施等はきちんと行われているが、避難訓練への地域住民の参加や緊急時の協力の呼びかけを行っていない。夜間火災や地震が起きた場合地域住民の協力が重要である。	日頃より地域とのかかわりを持ち、緊急時の協力の呼びかけをする。	自治区以外の近隣の住民に挨拶に行き、グループホームの様子や設備、緊急時の協力の呼びかけを行う。また、地域の消防団への協力の呼びかけを行う。	1ヶ月
2	9	本人の思いや意向は日常の会話の中で職員が聴いたり、ケアプランの作成時に本人から聴いているが記録の仕方が定まっていない。	利用者の思いや意向等は基本情報に付け加えていき、ケアプランの作成や発語が少なくなったときにその方の思いを把握するために活用する。	現在使用しているケースや記録物を職員で話し合い見直す。(利用者の話した言葉や場所・時間・背景等を記録する。)	2ヶ月
3	6	相談窓口(事業所及び第三者委員の聴き取り)を設置している。家族との面会時に聴いた意見は職員の連絡ノートに記録しすぐに対応・改善するようにしている。しかし、家族同士で意見を話し合う機会がないため、個人では職員に話にくいことがあるのではないか。	利用者や家族が施設に関する意見や要望を自由に話せる場を設け、運営並びにサービスの質の向上に生かす。	毎月の家族への手紙に他の家族からの意見を載せ「こういう意見がありましたかどうですか。」という一言を添える。施設の大きな行事や食事会等に複数の家族に参加してもらい意見交換する。家族会の設置をする。	6か月
4	3	運営推進会議では利用者の日常の様子や運営について報告したり、毎回テーマを決めて意見交換を行っている。自治区の代表は民生委員と地域包括センターの職員だけなので、今後自治会長や老人会長、消防団団員等の参加も考えていく必要がある。	老人会長や自治会長、また自治区以外の近隣の住民にも参加してもらい、事業所の理解を深めてもらうとともにそこで出た意見を運営に反映する。	老人会長や自治会長、自治区以外の近隣の住民の参加をお願いする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。